

橋本 功議員



Q 公共施設老朽化への対策は

A 総合計画を策定し適切に対応

共施設の維持管理策定を早期に取り組みむべきと考えるがどうか。

建設課長

既存の公営住宅は平成25年度に南阿蘇村公営住宅等長寿命化10ヶ年計画を策定した。本年計画により本年度は白水地区で北町団地から改善事業等に取りかかる予定である。

総務課長

地方財政法が改正され、公共施設等の総合的管理計画を策定することを条件に、公共施設の除去についても地方債が活用できるようになった。本村も全体的な現状把握を行い、作業部会を設け、今後3年間で計画の策定をしていきたい。

また、廃校になった長陽地区の小学校では子どもたちが劣化した遊具で遊んでいる。遊具・キャンパスの維持管理はできないか。公共施設の維持管理策定を早期に取り組みむべきと考えるがどうか。

教育委員会事務局局長

長陽西部・立野両小学校共に学童保育の場として年間を通じて利用。また災害時の避難場所に指定



されているため、その機能を維持しなければならぬ。中学校も統合を進めており、久木野・白水両中学校跡地については、今後トータル的に村の公共施設として検討していく。

村長

村の総合計画策定の作業に入っており、村営住宅の整備も計画に沿って進めたい。

教育施設統合は地元の活性を損なわぬような責任をもって計画を進める。

Q こども医療費助成の拡充と子育て支援への取り組みは

A 医療費拡充については検討したい
支援事業計画を策定中

橋本議員

子ども医療費は既に助成されているものもあるが、十分機能しているとは思えない。出産育児、乳幼児医療費助成制度、現物給付制度、中学校終了までの医療費助成の政策が必要と考えるがどうか。

子育て支援法に基づく事業計画の取り組みは、統合を進めている長陽



地区保育所を認定子ども園へ移行を検討してはどうか。

住民福祉課長

阿蘇郡市の市町村は、中学3年生まで医療費の助成を行っている。助成額は増加しており、財政的には厳しいが、助成拡充は手厚い子育て支援のアピールと定

住促進につながるの意見もあり、検討したい。村内での現物給付導入を検討したが、全県内で今後検討が必要

である。

南阿蘇村子ども子育て支援事業計画(仮称)の策定を進めている。

村内在住の小学生以下の児童がいる全世帯に対し教育や子育て支援ニーズ調査を行った。

この調査結果をもとに、子ども子育て会議にて調査・審議し、子育て当事者及び支援者の意見を聞きながら平成27年度からの事業実施に必要な準備を進めている。